

大雪山国立公園における

携帯トイレ 普及に向けた シンポジウム

場
所

道民活動センターかでのる2・7
520研修室(札幌市中央区北2条西7丁目)

日
時

平成
30年

1/27 土

12:30開場 13:00~15:30

● 事例発表

■ 美瑛富士避難小屋のトイレ問題と携帯トイレ利用促進の取り組み

山のトイレを考える会 事務局長 仲俣 善雄氏

■ トムラウシ南沼での取組について

十勝総合振興局環境生活課 主任 牛嶋 あすみ氏

■ 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言を目指して

環境省上川自然保護官事務所 首席自然保護官 栂 厚生氏

● パネルディスカッション

■ テーマ:大雪山で携帯トイレの利用を広げるためには

【コーディネーター】 北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲 哲也氏

【パネリスト】 山のトイレを考える会 副代表 小枝 正人氏
公益社団法人日本山岳会北海道支部 長谷川 雄助氏
マウンテック・大橋 代表 大橋 政樹氏
北海道大学ヒグマ研究グループ 松浦 暉氏
環境省上川自然保護官事務所 首席自然保護官 栂 厚生氏

事前
申込不要

参加費
無料
(定員90名)

大雪山国立公園における 携帯トイレ普及に向けたシンポジウム

日本最大の国立公園である大雪山国立公園。

“カムイミンタラ（神々の遊ぶ庭）”と呼ばれる雄大な山岳景観が広がる一方で、し尿の散乱や登山道外への踏み込みによる高山植生の消失など、山のトイレ問題が深刻化しています。そのため、大雪山国立公園連絡協議会では、携帯トイレの利用を推進することにより、登山者のみなさんとともに、大雪山のトイレ問題の解決を目指したいと考えています。このシンポジウムでは、登山者を含む様々な立場の山岳関係者が、携帯トイレの利用についてどう考えているのか意見を出し合い、みんなが合意できる共通目標は何かを探ります。



野営指定地などに散乱するし尿やティッシュ



トイレのためにお花畑が踏まれ、裸地化した場所

● 大雪山国立公園連絡協議会 構成員

北海道地方環境事務所、上川総合振興局、十勝総合振興局、富良野市、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、南富良野町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町

お問い合わせ先

大雪山国立公園連絡協議会事務局
環境省上川自然保護官事務所
☎01658-2-2574 (担当: 樹)

